

伊万里市議会だより

8月 令和元年
(2019年)

第70号



▲ 伊万里の夏の風物詩 どっちゃん祭り 女みこし (2018年)

一般会計

6月補正額： 9億3,901万円

予算総額： 262億6,201万円

(対前年同期： +2.8%)

6月議会に上程された議案及び補正
予算は全会一致で可決しました。

【第30回】

夏・おんな・伊万里津

どっちゃん祭り

令和元年

8月4日 日

午前10:00～ 伊万里市街地

★令和元年第3回定例会は9月2日(月)開会予定です。

令和元年伊万里市議会第2回定例会
会 期 日 程

6月 開議時刻 午前10時

日	内 容
17(月)	開 会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等 18件・・・一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
19(水)	議案等に対する質疑 決議案の上程 決議案の提案理由説明 決議案に対する質疑 決議案の討論及び採決 特別委員会委員の選任 特別委員会正副委員長の互選
20(木)	議案等に対する質疑 議案の常任委員会付託 選挙管理委員会委員及び補充員の選挙
24(月)	一般市政に対する質問
25(火)	一般市政に対する質問
26(水)	一般市政に対する質問
27(木)	常任委員会
28(金)	常任委員会
7/2(火)	正副委員長会
3(水)	常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 議案の付議順序により討論及び採決 閉 会

議会ホットコーナー

議長就任 あいさつ

議長 馬場 繁

5月1日の新元号の施行により、「平成」から「令和」へと新しい時代の幕開けとなり、5月20日に開催された令和元年第1回臨時会において、議長に就任いたしました。責任の重さを感じつつ、気持ちも新たに責任感をもって、議長の職務に誠心誠意務める覚悟です。

市議会は、4月の選挙で定数を3名削減し21名となり、5月の臨時会で各常任委員会等の委員選任をはじめ組合議会議員の選出等、各種構成も整い、議会としての活動を開始しました。

本市におきましても、人口減少、少子高齢化が進むなか、地域での暮らしの維持や市民の安全・安心の確保は、喫緊の課題です。

二元代表制の一翼を担う市議会としては、常に市民の視点に立ち、すべての市民が安心して暮らせるよう各施策の実現に向け、適正な行政運営がなされているかを見極めるとともに、積極的に議論を深めていく所存です。

今後も、市民との情報共有に努め、市民と共に歩む議会として、温かいご理解とご支援を賜るようお願い申し上げます。



山口恭寿監査委員 馬場議長 坂本副議長

定例会会期日程など

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法の規定により、初盆参りや地区の祭りへ会費以外の金品を持参することは禁止されていますので、失礼します。どうかご理解いただきますようお願いいたします。

議員一同

会派の紹介

有志会

志を共に共有して、
市政発展に努める



◎前田久年



山口常人



山口恭寿



松永孝三

新志会

政策の調査研究を推進し、市政の発展と
議会の活性化を図る



◎井手 勲



馬場 繁



梶山 太

公明党

伊万里市民の命・生活・生存
を守り、福祉向上の一翼を担う



◎樋渡雅純

いまり新風会

伊万里市の発展と市民福祉の増進に努める



◎前田邦幸



坂本繁憲



加藤奈津実



中山光義



力武勝範

渭水クラブ

議会活性化の為



◎笠原義人

伊想会

多様な経験と学びを通して、伊万里市の発展を探求する



◎松尾雅宏



川田耕一



西田晃一郎



岩崎義弥



前田敏彦



渡邊英洋



盛 泰子

総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、出納室、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に属しない事項

当委員会に付託されました条例議案3件、補正予算議案1件について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

主な内容は下記のとおりです。

【条例議案】

■消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
公共施設の使用料等について、令和元年10月1日から消費税、地方消費税が10%に引き上げになるため、それに伴い額を改正するものです。

■伊万里市報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例制定について

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴い改正するものです。選挙長など、日額100～200円の増となります。

■伊万里市税条例の一部を改正する条例制定について

地方税法等の改正に伴い、軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減、グリーン化特例の見直しなど、所要の措置を講じるため改正するものです。

【補正予算議案】

■伊万里市一般会計補正予算(第1号)

総務費

○プレミアム付商品券発行事業

……………3億5,445万1千円

消費税率引き上げが所得の少ない方や乳幼児がいる子育て世帯の方の消費に与える影響を緩和することを目的として、プレミアム付商品券の発行、販売を行います。

消防費

○消防団運営事業

・報償費 消防団員退職報償金 ……42万2千円

・備品購入費 ラッパ隊用備品…100万6千円

一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、消防団ラッパ隊に必要なラッパ等装備一式を購入します。

○消防団施設整備支援事業 ……150万8千円

・伊万里分団第2部(木須西地区)小型動力

ポンプ積載車格納庫及びホース乾燥施設の新設に補助します。……………120万円

(事業費650万1千円)

・伊万里分団第4部(脇田地区)小型動力ポンプ積載車格納庫の改修に補助します。……………30万8千円(事業費54万円)

※補助率

積載車格納庫：事業費の7/10以内

(上限100万円)、

乾燥施設：事業費の5/10以内(上限20万円)

○消防用設備管理事業……………57万8千円

防火水槽の防護フェンス補修に補助します。

・波多津町木場区 補助金28万9千円

(事業費51万4千円)

・南波多町大川原区 補助金28万9千円

(事業費51万4千円)

※補助率 事業費(控除額10万円)の7/10以内

【質疑】

質問：消防団施設整備支援事業について、建設費が高騰しているが補助限度額を上げられないか。

回答：上限の引き上げは考えていません。

質問：消防団設備管理事業の申請手続きを知らない人も多い。また、防火水槽等の設備の点検はどうしているのか。

回答：分団長会議などで周知を図っています。

点検は、消防団、消防本部でも実施しています。

質問：消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関し、今後も消費税率が変更されるたびに条例改正が必要となる。事務作業の軽減の面でも外税表記にしたほうが良いと思うが。

回答：消費税法に基づく表示としている。今回、税抜き単価表を作成したので今後の事務作業は軽減される。

【意見】

■消防団施設及び消防用設備に関する補助率について、地元への周知を更に図ること。



総務委員会メンバー

◎中山 光義 ○岩崎 義弥
馬場 繁 加藤奈津実 川田 耕一
前田 久年 盛 泰子

文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、教育委員会

当委員会に付託されました条例議案1件、補正予算議案3件について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

主な内容は下記のとおりです。

【条例議案】

■伊万里市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

令和元年度及び令和2年度における低所得者（本人及び世帯員全員が市民税非課税）の介護保険料に係る軽減措置を拡大するため、改正するものです。

保険料（年額）は次のとおり。

- 第1段階（高齢福祉年金受給者、生活保護受給者、本人の合計所得金額＋課税年金収入額が80万円以下の人）……………29,028円
- 第2段階（本人の合計所得金額＋課税年金収入額が80万円超120万円以下の人）48,384円
- 第3段階（本人の合計所得金額＋課税年金収入額が120万円超の人）……………56,124円

【補正予算議案】

■伊万里市一般会計補正予算（第1号）

民生費

- ・未婚のひとり親家庭臨時特別給付金支給事業……………153万2千円
未婚で児童扶養手当を受給しているひとり親に対し、臨時特別給付金を支給する。
支給額は17,500円/人。国が10/10
- ・留守家庭児童クラブ管理運営事業……………504万7千円

留守家庭児童クラブの利用者が長期休業日（夏・冬・春休み期間）の利用者が見込みより多く、定員を臨時的に増員するため委託料を増額する（474万6千円）。審議の中で、長期休業日の臨時的な増額金額が適正であるか質疑があった。

牧島・大坪児童クラブにエアコン設置がないため、空調設備移設工事します（30万1千円）。旧波多津小学校にある、エアコンを移設。

教育費

- ・小学校トイレ改修工事 ……1,858万9千円
大川内小学校のトイレが、市内の学校で唯一男女の仕切りのないトイレだったので、今回の工事で区別をし、洋式化します。

- ・小学校施設営繕工事 ……1,150万円
雨漏りが発生している小学校施設の防水工事を行う。対象施設は大川小学校校舎・牧島小学校校舎・大川内小学校トイレ棟は、長年の案件であり、やっと安心して授業が受けられるでしょう。

- ・伊万里中学校建設事業…2億1,221万5千円
伊万里中学校校舎の耐震化等を図るため今年度から5カ年で、校舎の建設（改築）工事を行う。全体概算事業費（令和元年度～5年度）26億4,336万8千円であり、今年度予算は建築確認申請等手数料106万2千円、工事監理業務委託料335万9千円、工事請負費1億9,169万4千円、用地購入費1,610万円。

【意見】

仮設教室を建てずに工事をするため、授業に支障が出ないように工事を進めてほしい。



伊万里中学校完成予想図

【特別会計】

■伊万里市介護保険特別会計補正予算（第1号）……………220万4千円

消費税率引き上げによる、介護保険料の軽減強化、介護報酬改定等に伴い、システム改修等に要する経費を追加するとともに、保険料を減額します。

■伊万里市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）……………78万6千円

消費税率引き上げによる、保険料軽減特例の見直しに伴い、被保険者への広報事業に要する経費を追加します。



文教厚生委員会メンバー

- ◎井手 勲 ○前田 邦幸
- 西田晃一郎 力武 勝範 前田 敏彦
- 山口 恭寿 樋渡 雅純

産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、上下水道部

当委員会に付託されました条例議案1件、補正予算議案3件について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

主な内容は下記のとおりです。

【条例議案】

■伊万里市市営駐車場条例の一部を改正する条例について

回数駐車券及び自動料金精算機専用コインの種類及び料金を改定するため、改正するものです。

【令和元年度一般会計補正予算】

農林水産業費

○園芸農業機械・施設等整備支援事業

……………1億1,512万3千円

革新的な技術の導入による収量・品質の向上や経営規模の拡大、経営コストの削減を目指す農業者を支援するため、その取組に必要な施設・設備の整備（JA伊万里が行うリース事業）に要する経費を補助するものです。

- ・事業内容 低コスト耐候性ハウス（施設きゅうり）の整備 12棟 6,236㎡

○肥育素牛生産拡大支援事業……38万6千円

繁殖牛農家及び一貫経営を行う肥育牛農家の負担軽減及び経営安定を図るため、牛の分娩を知らせるIoT機器の導入に要する経費を補助するものです。

- ・事業内容 分娩監視システムの導入

○農業用排水路施設等整備事業…990万円

農地等の保全や農業生産の維持などを図るため、老朽化した農業用水利施設（取水堰）を改修するものです。

○森林経営管理事業……………680万円

森林の経営管理（伐採、造林等）の適正化を義務付けた「森林経営管理法」の施行（平成31年4月）に伴い、適切な管理がなされていない森林について、当該森林の所有者と、意欲と能力のある林業経営者を市が仲介することにより、森林の適正な管理と林業経営の進行を図るものです。

商工費

○キャッシュレス決済導入支援事業…50万円

市民や観光客の利便性向上及び事業者の収益力向上を図るため、商工団体が実施する市内事業者への巡回訪問支援や事業者のキャッシュレス決済導入に要する経費を補助するものです。

○企業立地勸奨事業……………100万円

企業進出に関する情報提供者が紹介する企業と本市が進出協定を締結したことから、情報提供者に対して報奨金を交付するものです。

土木費

○道路管理事業（社会資本整備総合交付金）

……………1,622万4千円

国の予算配分に伴い、社会資本総合交付金を活用して、道路付属物点検（平成25年度実施）の結果に基づき、市道中山・上内野線の老朽化している法面を補修するものです。

【質疑】

- ・市営駐車場における駐車料金の支払い方法について
- ・園芸農業機械・施設等整備支援事業の低コスト耐候性ハウスについて
- ・森林経営管理事業における森林の現状把握の方法について

【意見】

- ・キャッシュレス決済導入支援事業については、メリットや補助制度の周知を図り、導入の促進に努められたい。



産業建設委員会メンバー

- 松永 孝三 ○山口 常人
- 坂本 繁憲 梶山 太 松尾 雅宏
- 渡邊 英洋 笠原 義久

議会運営委員会

議会運営委員会とは、市議会を円滑に、かつ効率的に運営するため、地方自治法に基づき設置された委員会です。伊万里市議会では、会派の人数に応じて選出された委員により構成されており、協議する内容は、

- ①議会の運営に関する事項
- ②議会の条例等に関する事項
- ③議長の諮問に関する事項 　　です。

視察報告（7月10日～12日）

○茨城県取手市議会

「議会愛」をキーワードに、議員と事務局職員が一丸となって活動している点が評価され、昨年「第12回マニフェスト大賞優秀成果賞」を受賞されています。

今回特別に、午前と午後の計2コマで、1コマは事務局次長から、対話による議員研修会の取組み、新人議員による模擬一般質問、7名の女性議員による議会改革特別委員会、中学生模擬議会、高校生を交えての対話集会、「来て、見て、知って取手市議会」での議場を使っての体験会、委員会毎にテーマを設けての市民との対話重視の意見交換会などについて説明を受け、多くの意見交換をさせていただきました。特に新人議員による模擬一般質問では、先輩議員が抽選で「議長」「答弁者」、傍聴席からの「評価者役」を務めるとのこと。「何でもまずは『試行』でやってみる」とのアドバイスに共感しました。

またもう1コマには、取手市議会議員の皆さんの参加も得て、ワールドカフェ方式で「市民との意見交換会の成果をどう生かすか？」等を行い、対話方式での有意義な気づきの場となりました。



任期は2年間。これまで続けてきた議会の改革を更に進めるため、まずは、早稲田大学マニフェスト研究所による議会改革度ランキングで常に上位にある先進的な2議会へ視察に伺い、多くの学びを得ました。

今回の視察から得られた知見を元に、出来ることから一つずつ、今後の議会運営・改革に生かしていきます。

○埼玉県所沢市議会



議会運営委員会委員長からの説明に、自身の勉強の意味もあって2名の新人議員が同席され、特に議会基本条例の検証について学びました。条例に「毎年度評価し、市民に公開する」と明記し実施されている点は、すぐに取り入れたいと思いました。

また20代から40代までの現役世代から無作為抽出したメンバーと議員とのワールドカフェ「みみ丸カフェ」は若い世代と議会との交流の場であり、大変参考になりました。



◎盛 泰子 ○力武 勝範
 岩崎 義弥 前田 敏彦 前田 邦幸
 山口 恭寿 梶山 太

● せいがん ちんじょう ● 請願・陳情について ●

市政について要望や意見を直接反映させる方法として「請願」や「陳情」を出すことができます。

(議員の紹介のあるものは「請願」、議員の紹介のないものは「陳情」として提出します)

【請願】

請願は所管の委員会で審査されて、本会議で採択・不採択を決め、結果は請願者に通知されます。なお、採択された場合は、その旨を市長に通知したり、議会の意思として国・県など関係機関に送付したりします。結論が出ない場合は、継続審査となる場合もあります。

市議会に請願を提出する場合は、地方自治法の規定により、紹介議員が1人以上必要になります。また、定例会の議案質疑初日午後5時までに受理したものをその定例会で審査し、その日以降に受理したものは次の議会で審議します。

【陳情】

陳情について、請願に適合するものは請願の例により処理します。また、必要に応じて、内容等を所管の委員会で執行部（市役所の担当課等）より説明を受けます。陳情の提出に係る法的根拠はなく、紹介議員の必要はありません。



－ 最近の請願・陳情の取り扱い紹介 －

市民から出された陳情を、国・県への意見書として可決・提出し、改善を求めました。

「人工内耳を補装具費支給制度の対象種目に加えることを求める意見書」

人工内耳補装具の費用は自己負担部分が大きいため、国に制度改正を求めるもの。

「人工内耳装着者への支援を求める意見書」

県に対して、国への制度改正要請を求めると共に、軽度・中度難聴児への支援拡充を求めるもの。

※なお伊万里市議会では、「請願及び陳情(議長が請願に相当すると認めるものに限る)を審査するに当たっては、所管する委員会において提出者に意見を述べる機会を与えなければならない」(議会基本条例第5条4)として、提出者の積極的な参加を規定しています。

※提出前に、議会事務局 (TEL 2 3 - 2 5 9 4) へご連絡・ご相談ください。

特別委員会・広報広聴委員会の設置

公共施設最適化調査特別委員会

行財政分析を踏まえ、ファシリティマネジメントについて調査・提言を行う。

- | | | | |
|------|-------|-------|--|
| 委員長 | 樋渡 雅純 | | |
| 副委員長 | 川田 耕一 | | |
| 委員 | 西田晃一郎 | 山口 常人 | |
| | 中山 光義 | 井手 勲 | |



まちづくり・観光振興特別委員会

新たなコミュニティや、交流人口増へ向けた観光のあり方等について協議・検討を行う。

- | | | | |
|------|-------|-------|--|
| 委員長 | 松尾 雅宏 | | |
| 副委員長 | 加藤奈津実 | | |
| 委員 | 松永 孝三 | 前田 久年 | |
| | 渡邊 英洋 | 笠原 義久 | |



広報広聴委員会

議会広報誌の編集及び発行に関すること、議会のウェブサイトに関すること、議会報告会及び意見交換会の企画に関すること、その他 議会の広報及び広聴に関すること。

- | | | | |
|------|-------|-------|--|
| 委員長 | 岩崎 義弥 | | |
| 副委員長 | 西田晃一郎 | | |
| 委員 | 坂本 繁憲 | 加藤奈津実 | |
| | 川田 耕一 | 山口 常人 | |
| | 山口 恭寿 | | |



一 般 質 問 (質問順)

一般質問事項

議員名	質問事項	議員名	質問事項
岩崎 義弥	1. 各地区での行財政運営説明会 (1)説明会の目的 (2)課題 (3)今後の予定 (4)参加したくなる仕組みづくりへの提案 (5)市長の考え	井手 勲	1. 本庁舎の喫煙対策について 2. 市立保育園の方向性 3. 子育て世帯の遊び場整備 4. 市道の整備について
	2. 病児・病後児保育 (1)現状 (2)課題 (3)提案 (4)市長の考え	加藤奈津実	1. 伊万里市の向かうべき方向性について 2. 伊万里市職員受験資格について (1)現在の受験資格と応募状況 (2)年齢制限の是非 3. 小中学校エアコン設置について (1)全体的な設置状況及び稼働時期の確認 (2)維持管理方法
力武 勝範	1. 行財政運営について (1)地区説明会 (2)ファシリティマネジメント (3)財政計画 2. 幼児教育・保育無償化について (1)給食費 (2)無償化の財源	中山 光義	1. 農業問題と今後の方針について (1)農業従事者の推移 (2)新規就農者の推移 (3)行政の関わり方と今後の課題 (4)農業政策の今後の取組、方針について 2. 森林経営管理制度について (1)森林環境税とは (2)森林環境譲与税について (3)今後の伊万里市の取組
山口 恭寿	1. 市民会館の今後について (1)現状 (2)過去の修繕について (3)今後	坂本 繁憲	1. 家読について (1)12年間の各町の取り組み状況 (2)今後の取組み (3)予算措置 (4)家読と道德授業 (5)家読推進への市長の思い
	2. 公民館の運営について (1)再任用職員のポスト (2)公民館館長公募制について (3)今後の公民館の運営について		2. コミュニティバスの運行拡大 (1)道路運送法 (2)コミュニティバスへの補助金について (3)バス会社への補助金について (4)免許証返納者への無料化拡大
盛 泰子	1. 危機管理 (1)液体ミルクの備蓄 (2)ネット119番 (3)「放射線副読本」	西田晃一郎	1. 第6次伊万里市総合計画について (1)今後の伊万里市の行財政運営についての地区説明会 (2)総合計画の周知 (3)総合計画の推進
	2. 子育て支援 (1)幼児教育・保育無償化 (2)保育士、児童クラブ支援員の人材確保	前田 邦幸	1. 教育行政について (1)学校編制について (2)教育委員の構成について (3)教育現場について (4)大坪公民館の状況
3. 「動物の愛護及び管理に関する条例」 4. 学校給食におけるアレルギー対応	2. 子ども・子育て支援について (1)子ども・子育て支援新制度 (2)幼児教育・保育無償化 (3)公立幼稚園・保育園の民営化		
梶山 太	1. 医療福祉施策について (1)医療的ケア児について (2)糖尿病の実態について		

病児保育の実現へ 研究を！



岩崎 義弥

質問 病後児保育室すこやか、4月から提携した武雄市の病児・病後児保育施設テトテの利用状況。

答弁 市民部長

平成28年度は年間34人、29年度は28人、30年度は20人。テトテの利用実績は0人。

質問 病児保育の実現へ研究を。

答弁 市民部長

病院や保育園併設が多い。方向性は運営形態など考慮しながら今後検討していくことになる。

答弁 市長

子育て環境の充実は私の政治方針の一つの柱。病児・病後児保育の充実も含めて、いろんな施策について講じてまいりたい。

各地区での行財政運営 説明会

質問 市の行財政の現状を理解してもらおうで良い取り組みだと感じている。財政から始まり市民と

の協働によるまちづくりまでと広範囲であり、困惑をされる方もいたようだ。この説明会の目的は。

答弁 政策経営部長

行政と市民が、現状と課題を共有し、協働することが重要と考えて説明会を実施している。

質問 説明会の目的をしつかりと伝えること、若い世代の参加が大切。現状を共有しつつ明るい伊万里の未来のために知恵を出し合うことが必要。課題と今後の予定は。

答弁 政策経営部長

当初は説明不足で質疑時間が不十分であった。現在は重点施策に絞る資料を見やすく改善した。13地区での説明会に加え、市長とちよいカフエ、出前講座、育友会や様々な団体などに出向き意見交換などを重ね、将来都市像「ひとがいきいきと輝く幸せ実感のまち伊万里」の実現を目指したい。

質問 若い人を企画段階から参画させ、朝まで生テレビ伊万里版のような議論番組を制作するなど、見たくなる参加したくなる仕組みづくりを。金が無ければ汗を出そう知恵を出そう。市長の考えは。

答弁 市長

若い人も含め多くの市民の方々と話をしたい現場を直接見たい。話をするところから始まると思う。

今後の行財政運営



力武 勝範

質問 既存事業の見直しについて。

答弁 政策経営部長

見直しや廃止可能と思われる既存事業のリストを作成し、庁内全ての部署において検討し、令和2年度以降の事業計画、予算編成に反映させていきたい。

質問 ファシリティーマネジメント(施設の最適化)の今後の進め方について。

答弁 政策経営部長

今年10月から稼働する公共施設等管理システムにより、施設カルテの整備、建物の劣化診断、工事の優先度や更新費用など客観的に算出された各種データを基に、今年度中に基本的な方針案を策定し、地域の皆様とともに、将来世代へ残す公共施設の在り方・方向性についての議論を行っていき

質問 今後の財政計画について。

答弁 政策経営部長

来年度に第5次財政基盤安定化計画を策定する際は、ファシリティーマネジメントや事業見直しの効果などを、可能な限り盛り込んだうえで財政収支の見込みを策定し、市民の皆様へ提示していきたい。

質問 今後の行財政改革について。

答弁 市長

身の丈に合った効率的で効果的な事業の推進が必要である。行財政改革は必要であるが、市民にとって必要な事業は行わなければならない。

幼児教育・保育無償化に伴う食料費について

質問 幼児教育・保育無償化においては、食料費は無償化の対象外とされているが、食料費の金額はいくらになるのか。

答弁 市民部長

食料費の免除対象者にかかる公定価格への加算額は、第2号認定の子どもについては月額4500円であり、徴収額についても、同額となると思われる。

質問 延滞管理の指導はどのようにされるのか。

答弁 市民部長

きめ細やかな支援を行っていく。

一般質問

一般質問

市民会館の今後



山口 恭寿

質問 12月議会、市長は市民会館の閉鎖を検討すると言っていたが、現状についてお聞きする。

答弁 **総務部長**

令和2年度の予約受付を中止している。

質問 その理由は。

答弁 **総務部長**

維持して行くための大規模改修に2億6千万円以上かかり、今後、市民センター大ホールに移行していく予定。

質問 閉鎖するのなら、市民の声を聞くべきでは。

答弁 **総務部長**

そのように進めていく。

公民館の運営について

質問 市長公約で各町公民館に予算と権限を分権していくと言っていたが、どこまで進めて行くのか。

答弁 **市長**

今後、各町でどこまで希望するのか、やれるのか、検討して行って欲しい。

質問 市長公約の公民館長公募制についてお聞きする。

答弁 **市長**

令和3年度から出来るよう進めていく。

市役所庁舎移転について

質問 現状についてお聞きする。

答弁 **市長**

伊万里中学校、東山代小学校とやらなければならぬ事がある。それらを踏まえて進めていく。

道の駅は公約!?

質問 市長は市長選挙前の公開討論会で、道の駅を一緒に作りましようと言っているが、これは公約か。

答弁 **市長**

確かに言った。そして、それを目指して行くし、そのための努力も行っていく。

質問 市の姿勢は消極的に見える。市長公約である以上、もっと市長が積極的に取り組んで行くべき。

答弁 **市長**

当然、考えていく行く必要があると思うている。

子育て支援の充実



盛 泰子

質問 ①10月からの幼児教育・保育「無償化」は、未だ制度の詳細が不明で、利用者に直面する保育園は困惑している。説明を急ぐべき

②園長会で出された課題は。③県内での非正規保育士報酬の状況は。④学童支援員の待遇改善も急務。

答弁 ①②③**市民部長**、④**市長**

①7月にある県の説明会後に園長会へ説明。広報では8月号。②食材費徴収方法や、金額、欠席者の扱い、収支報告など多岐に渡る。

③公立保育園がある4市中、臨時職員は3位、嘱託職員は4位。今後処遇改善ができるよう検討する。

④委託先と十分に協議する。

深めよう「危機管理」!

質問 ①4月から販売が始まった液体ミルクを備蓄に加えるべき。

②昨秋、文部科学省が作成し各小中学校に配布された「放射線副読本」について、教育長はどう考えるか。③聴覚障がい者などに有用なネット119緊急通報システムの導入を。

答弁 ①**市長**、②**教育長**

①備蓄できるのか、十分検討したい。②放射線の安全性のみが強調されており、被災者に寄り添っていないと感じた。これを使用する教員の配慮が必要。③導入へ向け、有田の松尾町長とも協議する。

学校給食アレルギー対応

質問 選挙中の個人演説会で小4

女児から「アレルギー除去食を委託できないか」との問題提起があった。新給食センター建設時にも議論したが、調理場を分けることは出来ず、新たな視点での提案と感

じた。①配慮が必要な児童生徒数は。②委託は難しいか。③対象の方に呼び掛けて、給食センターで調理師や栄養士も交えての情報や意見交換の場から始めてほしい。

答弁 **教育長**

①17校108人。②クリアすべき課題が多く、残念ながら難しい。

③皆さんの不安が少しでも軽減できるよう、そのような場づくりを計画し、出来る事からひとつひとつ行う。

一般質問

医療福祉政策を問う



梶山 太

質問 医療の進化により、増加傾向の「医療福祉ケア児」とは。

答弁 市民部長

法律上の定義として、児童福祉法において「人工呼吸器を装着している障害児、その他日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児」とされている。近年は、新生児医療向上等を背景として、医療的ケア児の存在が、クローズアップされている。

質問 佐賀県と伊万里市における医療的ケア児の人数と施設の数。

答弁 市民部長

県内では、国と同じく推計値だが、約150人、市内では10人と把握している。施設数については、市内において受入可能な施設が2箇所と確認している。

質問 市の考える児童支援、家族支援の方向性は。

答弁 市民部長

現在、伊万里・有田地域自立支

援協議会の障害者支援部会において、専門分野の枠を越えての検討等、支援体制の強化を進めていきたい。

答弁 市長

医療的ケア児と保護者の支援は、地方公共団体も含めた、地域全体の責務であり、周囲の身近な人達をはじめ、保険や医療、福祉、教育など、様々な分野の専門職が知恵を出し合い、協働してはじめて解決されるものと考ええる。

増え続ける糖尿病対策

質問 国民病と言われる糖尿病の実情は。

答弁 市民部長

国際糖尿病連合の発表では、世界の糖尿病有病者数は増え続けており、2015年現在で、4億1千500万人とされている。

質問 糖尿病の対策は。

答弁 市民部長

現在実施しているのは、早期発見につながる血液検査、発症予防のための健康教育、重症化予防の取り組み。今後は、特定健診受診の積極的な勧奨、重症化予防につながる効果的な保健指導実施を考えている。

本庁舎の喫煙対策について



井手 勲

質問 健康増進法の一部を改正する法律が7月1日より施行されるが本庁舎の喫煙対策について何う。

答弁 政策経営部長

第一種施設に分類され、本庁舎は原則「敷地内禁煙」となる。しかしながら来庁者にも喫煙者がいらつしやるので当面は「特定屋外喫煙場所」を2ヶ所設置する。

老朽化激しい市立保育園

質問 今後の方向性をうかがう。

答弁 市民部長

公立6ヶ園のうち一番古い大坪保育園は大坪公民館との複合施設とし、公立保育園を予定。その他の保育園は今年度中に市長を入れた（仮称）「公立保育園整備のあり方検討委員会」を立ち上げて、民営化等の運営手法や施設の整備方法について検討していただく。

質問 市で建て替えが財政的に厳

しいのであれば、民営化も視野に入れて整備計画ができないか。

答弁 市長

全て公営でいく必要もないのではないか。民営化も一つの選択肢だと思っている。

子どもと一緒に遊べる児童遊園を

質問 安全安心な児童遊園等を造ってもらいたい。整備計画は。

答弁 市民部長

現在市内には4ヶ所あるが財政的な問題等で老朽化した遊具やトイレの撤去等をしている。新たな新設は計画していない。

市道の老朽化した路肩法面保護コンクリート整備

質問 整備は可能か。

答弁 建設部長

現在市道においても路肩の保護コンクリートを施工した箇所はあり、地元要望や市が必要と思われる箇所については施工も行って行く。

質問 地元で施工する場合、コンクリートの材料支給は可能か。

答弁 建設部長

予算の範囲内であれば可能。これまでも地元施工の事例はある。安価で仕上がり助かっている。

一般質問

伊万里市が向かうべき方向性について



加藤奈津実

質問 伊万里市の方向性について、市民、議会、行政とで今一度意識の共有を図りたく質問する。

答弁 ①政策経営部長、②市長

①伊万里の強み弱み危機感を共有しつつ、市民がそれぞれの得意分野で連携し地域づくりや新たな取り組みをより柔軟な対応で持続的に行っていくことが重要で、市としても最大限努力していく。

②第6次総合計画の将来都市像を実現するため、本市の状況について共通認識を図りながら市民の皆さんと協働で取り組んでいく。

伊万里市職員受験資格について

質問 受験資格と応募状況は。

答弁 総務部長

一般事務Aは年齢制限のみで、採用年度の4月1日時点で18歳から30歳まで。保育士は資格要件及び年齢制限が27歳まで。

ここ5年間の応募状況について、一般事務Aは横ばい、保育士は年々減っている。

質問 年齢制限をする理由は。

答弁 総務部長

キャリア形成に期間を要することに加え、自治体として安定的で継続的な運営を行えるよう職員の年齢の偏りを避けるため。

質問 保育士の年齢制限については特に見直しが必要では。

答弁 総務部長

保育士についてもキャリア形成の期間が必要だが、応募数が年々減っていることもあり上限の引き上げについて検討すべき課題だと考えている。

小中学校エアコンについて

質問 設置状況と稼働時期は。

答弁 教育部長

中学校は設置完了しており6月から稼働している。小学校は完了予定日が8月30日、稼働は9月当初から予定している。

質問 今後の維持費及び取り替え費用の確保は。

答弁 市長

コスト管理をして可能な限り費用を抑えながら、教室数の増減も視野に入れ予算措置をしていく。

森林経営管理制度について



中山 光義

質問 平成31年4月1日施行の森林経営管理法に係る森林経営管理制度とはどのようなものか。

答弁 産業部長

森林所有者の責務として適切な経営や管理等を行うことを明確化、管理出来ない場合には市町村に委ね、経済ベースにのる森林については林業経営者に繋ぎ林業の利用を促進し、森林経営に適さないものについては直接市町村が管理を行い、適切な森林整備をするものです。

質問 森林環境税とは。

答弁 産業部長

森林を支えるという観点から国税として令和6年度から課税され、市町村が年額千円を個人住民税の均等割り納税者に上乗せして徴収するものです。

質問 交付される森林環境譲与税額は。

答弁 産業部長

課税に先行して国の特別会計での借入によって、今年9月より各市町に交付されるもので、伊万里市の場合、今年度1200万円、令和15年度から4050万円満額交付される見込みです。

質問 譲与税の今後の活用は。

答弁 産業部長

森林管理制度に関連した事業を積極的に展開するため活用していきます。今年度は、市内の森林管理状況を把握し、森林の所有者に対し意向調査を行う予定です。

質問 対象となる森林の抽出方法と優先順位はどのような考えか。

答弁 産業部長

森林の多面的機能の発揮のため間伐等が未実施の森林を調査、ゾーニングを行い、採算性の高い林業経営に適した森林から優先順位を定め意向調査を行っていきます。

質問 譲与税を有効に活用し豊かな森林をどう育んでいくのか。

答弁 市長

スギ、ヒノキ等の伐採適齢期に達している森林について集約化を行い、一体的な作業道の整備等を行うことにより伐採、搬出や伐採後の植林、下払い等の管理を行うことで未来に利用可能な森林整備に努め、伊万里市の豊かな森林を次世代へ引き継いでいきたい。

一般質問

家読の取組みについて



坂本 繁憲

各町の取組み状況は。

教育部長

現在は4つの町・地区で開催されている。学校現場においては毎月第3日曜日を「家読の日」と定め、学校独自のルールで取組んでいる。

教育部長

図書館では、学校や幼稚園の先生及びボランティアに対して、読書指導のアドバイスや本の紹介を行い、家読活動の支援を行っている。また、年に一度、図書館に講師を招いて家読推進講演会を開催し、家読の取組み方法や、楽しく読書に親しむ方法などを啓発している。

「家読」を道徳の授業に活用する考えはないか。

教育長

道徳の授業と「家読」に共通するものが、豊かな心を育むということ

です。心の教育は、学校による道徳の授業だけでなく、家庭や地域の中でも行われるもので「家読」をはじめ、家庭や地域で行われている絵本や様々な書籍の読み聞かせも、豊かな心を育む上で大切なことだと考えます。

「家読推進」への思い。

市長

これまで培ってきた家読の活動を引き続き協働の形で進めていくことで、より広く、より深く、そしてより密接に家読推進が図られていくことを期待しています。そして、伊万里の子ども達が健やかに成長することが一番ですが、周りにも影響を与えて家読の取組みが広がり、心豊かに暮らすことができる社会となることを願っております。

コミュニティバスの運行拡大について

運転免許自主返納者だけではなく、80歳以上の高齢者に対しても恒久的な無料化を図るべきだと思いが、市長としての考えは。

市長

無料とするには財源確保が困難であり、公共交通の仕組みを維持していく上では、一定の受益者負担をお願いせざるを得ない。

第6次伊万里市総合計画について



西田晃一郎

伊万里市の行財政運営説明会での参加者の反応や質問はどうだったか。

政策経営部長

伊万里市の人口推移や財政状況や、今後の事業見直しなどを各地区の「まちづくり推進協議会」等、初めて市民の皆さんに直接説明し、地域によっては少々刺激が強かった。

また、今後は、新しい伊万里を創っていかねばならないなど前向きな意見も頂いた。

総合計画の周知と推進について。

政策経営部長

7月に、総合計画の概要版を全戸配布し、その概要版にはQRコードが掲載されており、スマートフォン等で読みとると計画全体を見ることが出来る。

また「まちづくり出前講座」や「市長とちよいカフェ」など、積極

的にご活用頂き、直接皆さんと対話を重ねていきたい。

本計画を推進するために市民との協働をどう図っていくか。

政策経営部長

本計画の重点施策として「市民主導型公民連携のまちづくり」に取り組み、問題解決を図る体制づくりと地域活動を支えるリーダーを養成する。

また、まちづくり課に職員を増員し、市民からの意見やアイデアなどを様々な施策に反映させ実行していく体制づくりを強化していきたい、市民との協働のまちづくりに努めていく。

地域共生社会の実現に向けて今後のビジョンは。

市長

本計画の目標である「安心で健やかな暮らしづくり」や「市民主導型公民連携のまちづくり」に基づき事業を推進しながら、地域共生社会を実現し、一人でも多くの方に幸せを感じ、笑顔で暮らしていける伊万里市を創っていききたい。



一般質問・編集後記

教育行政について



前田 邦幸

質問 国が定める、公立小・中学校標準学級の考え方、概要は。

答弁 教育長

学校規模の標準は学級数により設定されており、学校教育法施行規則では、望ましい学校規模として、小中学校ともに、全校で12学級以上18学級以下としております。

質問 伊万里市の学校規模の現状は。

答弁 教育長

本市では、国が示す標準学校規模を満たす学校は、小中学校合わせ23校中5校、市が考える現実的な学校規模を満たす学校は23校中11校となっており、小規模校が多くあるのが現状です。

質問 少子化を見据えた、学校統合に対する市全体の方向性は。

答弁 教育長

今年7月から滝野中学校の生徒数の減少と東山代区長会の要望を踏まえ行う予定としており、協議

会の中で、児童生徒数の動向や教育活動状況を踏まえ、保護者や地域住民の意見を聞きながら、市全体の適正な学校規模について、検討していきたい。

子ども・子育て支援について

質問 少子化対策として、今回の幼児教育・保育無償化を機に、0〜2歳も全員無償化すると市の負担額はいくらになるか。

答弁 市民部長

無償化を機に、0歳から2歳まで全てのお子さんを無償化するには、1億8千万円ほどかかります。子育て環境整備には効果的ですが、財源確保が難しい。

質問 幼児教育・保育無償化に関して、私立と公立を比較すると、公立の負担が大きい。よって、今後の公立保育園の統廃合や民営化の考えを聞きたい。

答弁 市民部長

フアンリティーマネジメントの観点から老朽化も進んでいる事から、今年度中に、市民も入れた公立保育園検討委員会（仮称）を立ち上げ、検討していく。

編集後記



伊万里市議会では、新しく広報広聴委員会がスタートしました。議会だよりの企画発行、議会報告および意見交換会の企画運営、議会ホームページについての3点が主な業務となります。嬉しいことに全新人議員4名が所属することになりました。委員7名で知恵を出し合い、良い委員会にしていきたいと思えます。

も悩むのが表紙の写真です。この写真についても広く公募できないかなど、良い方法を委員会でも研究していきたいと考えています。市民の皆様、議会だよりについてご意見をお聞かせいただけましたら幸いです。（岩崎義弥）

他の市町議会では議会事務局が主体となり作られることが多い議会だよりですが、伊万里市議会ではこれまでも議員が主体でやってまいりました。広報広聴委員会では、良い伝統は受け継ぎながらも前例にとらわれず、市民の皆様が読みたくなるような議会だよりを目標に改善を重ねていきたいと思えます。

私は4年間、「議会だより」の編集に携わってきましたが、いつ

発行・ご意見

伊万里市議会
伊万里市立花町1355-1
☎0955-23-2594
☎0955-22-1277
E-mail: gjikai@city.imari.lg.jp

編集
広報広聴委員会

印刷
山口印刷株式会社

広報広聴委員

◎岩崎 義弥
坂本 繁憲
川田 耕一
山口 恭寿
○西田晃一郎
加藤奈津実
山口 常人